



2025 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 栗田工業株式会社
代表者名 取締役 代表執行役社長 江尻 裕彦
(コード番号 6370 東証プライム)
問合せ先 経理部長 増田 晋一
(TEL 03-6743-5054)

減損損失の計上と通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、連結子会社ペンタゴン・テクノロジーズ・グループ, Inc. (以下、ペンタゴン社) およびクリタ・フラクタ・ホールディングス, Inc. (以下、フラクタ社) において、減損損失を計上する見込みとなったことから、2025 年 2 月 6 日に公表した 2025 年 3 月期通期 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日) の業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

(1) ペンタゴン社の減損損失について

当社グループは精密洗浄事業の強化を目的として、2020 年 4 月にペンタゴン社を子会社化し、2022 年 6 月に 100%子会社としましたが、一部の欧米主要顧客の半導体工場稼働率低迷および工場建設計画の変更、延期の影響を受け、想定していた収益の実現が困難であるとの判断に至りました。そのため、現在の事業環境を踏まえて今後の事業計画を見直し、ペンタゴン社に係るのれんを含む固定資産の減損損失 165 億円を計上する見込みとなりました。

(2) フラクタ社の減損損失について

当社グループは水道管等の劣化予測のソフトウェア開発事業を新事業として獲得することを目的に、フラクタ社を 2018 年 5 月に子会社化し、2023 年 3 月に 100%子会社としましたが、事業体制の整備の遅れ等により、当事業が想定していた収益を獲得できず、将来計画の早期実現が困難であるとの判断に至りました。そのため、現在の事業環境を踏まえて今後の事業計画を見直し、フラクタ社に係るのれん 25 億円を減損損失として計上する見込みとなりました。

2. 2025 年 3 月期通期 連結業績予想の修正 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	410,000	50,000	49,700	49,000	34,500	306.81
今回修正予想 (B)	408,800	49,100	31,200	31,800	20,300	180.61
増減額 (B-A)	△1,200	△900	△18,500	△17,200	△14,200	—
増減率 (%)	△0.3	△1.8	△37.2	△35.1	△41.2	—
(ご参考)前期実績 (2024 年 3 月期 通期)	384,825	42,055	41,232	41,686	29,189	259.70

(注) 事業利益は、売上高から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除した恒常的な事業の業績を測る当社グループ独自の指標です。IFRS で定義されている指標ではありませんが、財務諸表利用者にとって有用であると考え、自主的に開示しております。

2025 年 3 月期通期の業績につきましては、欧州やアジアの一部地域での景況感の悪化の影響を受けて、一般水処理セグメントの薬品事業の売上が想定を下回る見込みであるほか、精密洗浄事業において一時的な損失が見込まれることから、事業利益の見通しを下方修正します。また、「1. 減損損失の計上」に記載ののれんを含む固定資産の減損損失計上を踏まえ、営業利益以下の各段階利益についても見通しを下回る見込みです。

なお、配当予想については変更いたしません。

3. 個別決算における特別損失の計上

上記ペンタゴン社における減損損失計上に伴い、当社が保有する同社持株会社のクリタ・アメリカ・ホールディングス, Inc. 株式の実質価値が著しく低下するため、当社の 2025 年 3 月期通期において、関係会社株式評価損 253 億円を特別損失に計上する見込みとなりました。なお、当該関係会社株式評価損は当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結業績への影響はありません。

(注) 本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは異なる場合があります。

以 上